

【ひだかプラン】「令和2年度日高管内教育推進の重点」の具現化

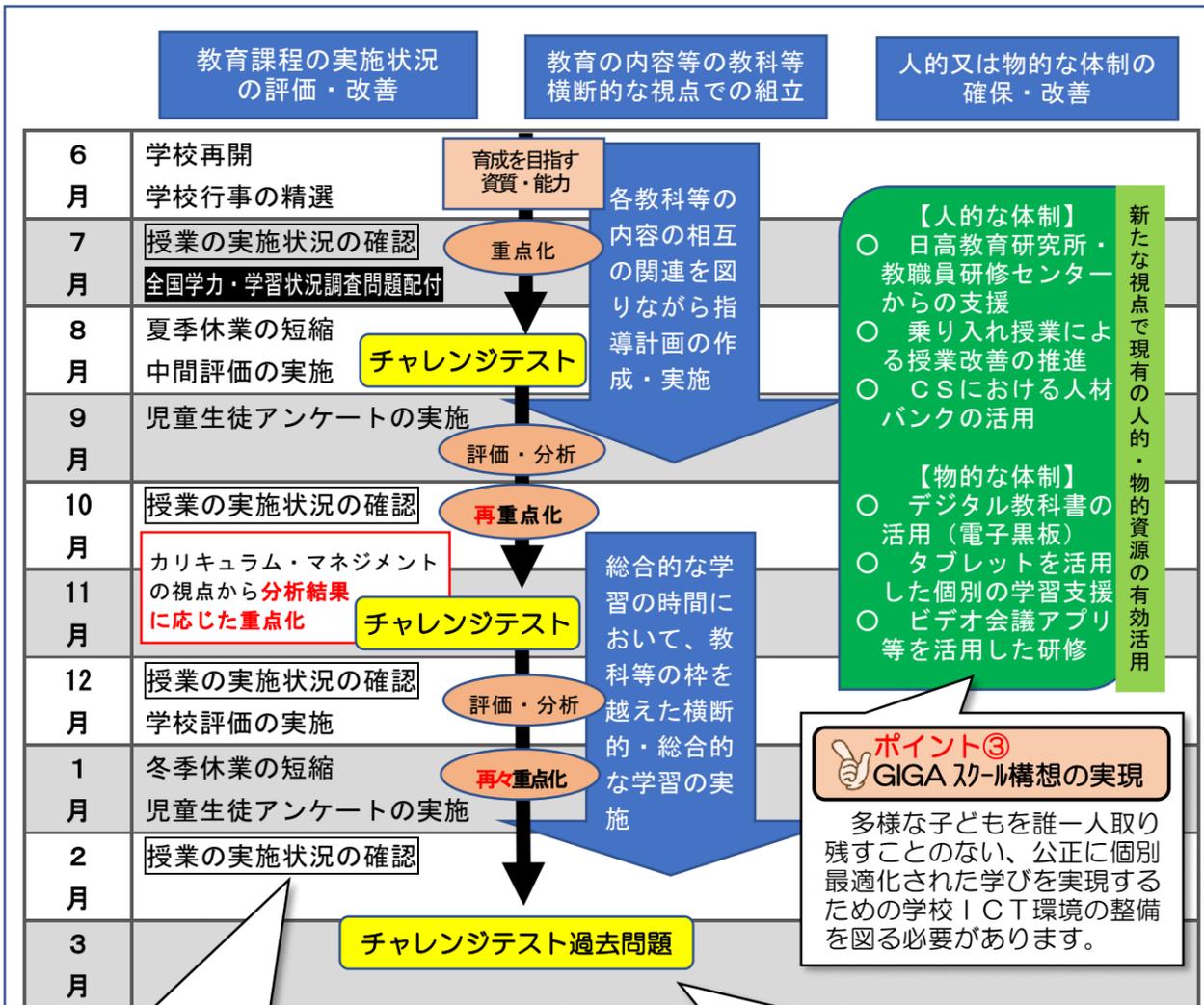


教育課程の実施状況の組織的な評価・分析及び改善



日高教育局では、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた学校教育活動等の状況について、各学校から電話等で聞き取らせていただき、今後の教育課程の実施状況の組織的な評価・分析及び改善に向けた取組の参考にさせていただくため、本資料を作成しました。

各学校の校内研修等において、令和2年（2020年）5月26日付け教義第206号通知の理解を深めるとともに、本資料を活用したカリキュラム・マネジメントの充実を図ってください。



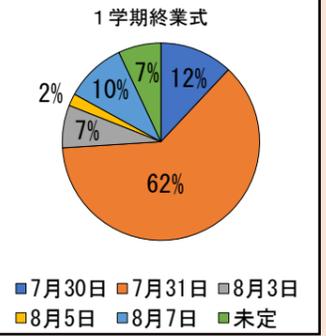
**ポイント①**  
各教科等の目標の実現状況を評価規準に基づき把握する。  
学校再開後の授業においては、各教科等の授業時数を確保するとともに、児童生徒の家庭学習への取組状況や学習内容の定着を把握し、年間指導計画の見直しに生かすことが大切です。

**ポイント②**  
「チャレンジテスト」の結果を分析し、授業改善に生かす。  
これまでの指導内容を確実に指導できるよう、家庭学習との組合せや指導順序の変更などにより、学校の授業における重点化を図る必要があります。また、今年度中に学習指導要領に示された内容を終えるようにします。

○ 各学校の児童生徒の学習内容の定着を踏まえた年間指導計画の見直し

管内の状況（指導主事による聞き取り）

新型コロナウイルス感染症拡大による臨時休業になった欠時数の回復のために、管内の全ての小・中学校において、長期休業を短縮することにより、授業時数の確保する取組を行っています。  
管内の多くの学校が7/31を終業式とし、8/1から夏季休業に入りますが、ある学校では、児童生徒の定着状況の見込みや今後の臨時休業にも対応できるよう、8月上旬を終業式としています。  
今後の状況の変化に応じて、組織的に教育課程を見直し、実施する必要があります。



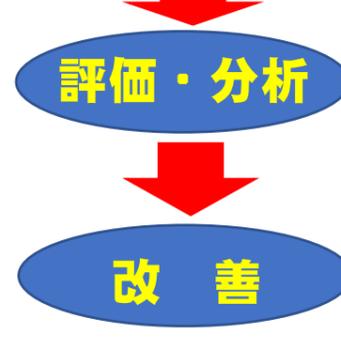
○ 教育課程の再編成とICTを活用した学習指導の工夫等

管内の状況（指導主事による聞き取り）

- 学校行事を見直すことにより、これまでの運動会、学習発表会を中止とし、代替として体育参観日音楽参観日を実施するなど、保護者へ公開する場を設定する予定である。
- 臨時休業期間中にタブレット端末を貸与し、家庭学習に活用できるようにした。
- Zoom等を活用した学習指導に対応するタブレットPC等の機器が町内全ての児童生徒に配備されている。
- 臨時休業期間中に校長がリーダーシップをとり、教職員がYouTubeによる授業配信を行ったところ、生徒にも好評であった。

4・5月の授業時数集計  
下の表は新冠小学校第6学年の4・5月分の授業時数集計です。この期間に昨年度の未指導分及び当該学年の学習内容の進捗状況を全教職員で確認することにより、今後、各教科等で育成する資質・能力について、学校の教育目標に照らし合わせて重点化を図るため、教育課程を再編成し、長期休業の日数等を決定しています。

教科	国語	社会	算数	理科	音楽	図工	家庭	体育	英語	道徳	総合	特活	計
予定時数	32	20	32	20	10	10	10	16	12	6	12	6	186
実施集計	12	8	12	6	0	3	2	3	3	1	3	5.5	58.5
不足	20	12	20	14	10	7	8	13	9	5	9	0.5	127.5



学校評価をカリキュラム・マネジメントと関連付けるために、教育課程・学習指導に係る評価はもとより、人的な体制の確保の状況など、教育課程を効果的に実施できるよう、必要な評価項目や評価時期を工夫する必要があります。

学校評価に関する中間評価に基づき、各校務分掌が連携して業務改善を図ることができるよう、マトリクス等を作成するなど改善策を明確にする必要があります。

中間評価マトリクス（例）

	低	重要度	高
高	学校行事の精選 秋満足の中止		授業時数の確保 新型コロナへの対応
緊急度	教科等横断的な視点の授業改善		冬季休業期間の変更
	人材バンクの整備		学習評価の共通理解
低	土曜授業の実施 地域行事等で難しい		校内研修の充実 1人1公開授業の実施